

岩手県知事 達増拓也 様

2018年5月2日

日本共産党岩手県委員会

委員長 菅原 則勝

県議団 斉藤 信

高田 一郎

千田美津子

日本共産党北部地区委員会

### 米軍機の低空飛行訓練の中止を求める申し入れ

米空軍三沢基地所属のF16戦闘機が、青森県や岩手県の上空で、日米合意で定められた最低高度基準（住宅密集地は300m、人家のない地域や水面は150m）を大きく下回る低空飛行訓練を行っている動画（「USA ミリタリー・チャンネル」）が4月2日に投稿サイトに掲載されました。これは「三沢基地の第35戦闘航空団に所属するF16が日本の山岳地帯上空で低空飛行訓練を実施」と説明されているものです。

動画の分析と現地調査によれば、F16戦闘機は離陸後、先日タンクの落下事故を起こした小川原湖、十和田湖の湖面で低空飛行を行い、その後、二戸市浄法寺町の保育園上空を飛行し、県企業局の高森高原風力発電所の風車の間を低空飛行するという極めて危険な訓練を行ったことが明らかです。ことは県民の安全と重大事故にかかわる問題です。

岩手県内では、1988年9月30日、米空軍三沢基地所属のF16戦闘機が川井村山中（集落から約400m）に墜落事故を起こしています。1999年1月21日には同F16戦闘機が釜石市橋野の山中（民家から約550m）に墜落事故を起こしています。

県民の安全と安心を確保するために米軍機による低空飛行訓練の中止を求めるよう下記の通り申し入れます。

#### 記

- 1、今回の動画を含め米軍機の低空飛行訓練の実態を調査し公表すること。
- 2、米軍機による低空飛行訓練の中止を米空軍と日本政府に申し入れること。
- 3、広島県や高知県等の取り組みを参考に、米軍等による低空飛行訓練と騒音被害の実態調査を、市町村と連携し実施すること。そのための体制を構築すること。
- 4、最低高度基準の遵守など日米合意を厳格に実施させるとともに、米軍にも国内法を優先させる日米地位協定の見直しを求めること。

以 上